

歯科材料(09) 歯科用研削材料
一般医療機器 歯科用ダイヤモンドバー 16670000

AWL ダイヤモンドバー

【禁忌・禁止】

目的以外の使用禁止、歯科領域以外での使用禁止。
使用目的にあった器具を使用すること。[誤った使用方法は本品の折損を招く恐れがある]
本品の使用により感作又はアレルギー反応が起きる可能性があるため、本品の原材料に対して金属アレルギーの既往歴のある患者には使用しないこと。
本品に変形や損傷等が見られた場合には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

《形状・構造》ステンレス製の軸部と微細なダイヤモンド結晶を砥着した作業部をもち、歯科用ハンドピースに装着して使用する。

《原理》歯科用ハンドピースの回転により、歯や歯牙、歯科用補綴物等を研削する。

《種類》作業部の形状は品目ごとに異なる。

1. FG

軸部の直径: 1.6mm



2. FG (ショート)

軸部の直径: 1.6mm



3. CA

軸部の直径: 2.35mm



4. HP

軸部の直径: 2.35mm



《材質》 軸部: ステンレス鋼
作業部: ダイヤモンド砥粒

【使用目的又は効果】

微細なダイヤモンド結晶で砥着されたステンレス製の作業部をもち、歯科用ハンドピースに装着し、歯牙や歯科補綴物等を研削するために用いる回転式の研削器具。金属、プラスチック、陶材及び同等の材料の研削に用いることもできる。

【品目仕様等】

最大許容回転数と推奨回転数

作業部の直径 (ISO φ 1/10mm)	最大許容回転数 (毎分)	推奨回転数(毎分)
007 - 010	450,000	100,000 - 220,000
012 - 014	450,000	70,000 - 220,000
016 - 018	450,000	55,000 - 160,000
021 - 023	300,000	40,000 - 120,000
025 - 027	160,000	35,000 - 110,000
029 - 031	140,000	30,000 - 95,000
033 - 040	120,000	25,000 - 75,000
042 - 050	95,000	15,000 - 60,000

【使用方法等】

- 記載されている回転数以下で使用する。
- 歯科用ハンドピースに装着し、確実に奥まで挿入されているか確認すること。
- あらかじめ患者の口腔外で試運転をし、振れがないことを確認すること。
- 頭部の細い、長い、大きい形状のものは、折れたり曲がったりすることがあるため、無理な角度や過度の加圧での使用は避けること。

【使用上の注意】

- 使用注意
 - 使用前に必ず洗浄・滅菌すること。
 - 本品は歯科医療有資格者のみ使用すること。
 - 目の損傷を防ぐため保護メガネを使用すること。
 - 粉塵やエアロゾルを吸引しないよう、マスクを着用すること。

- 局所の発熱を防ぐため、作業部を常に移動させながら作業を行うこと。
- 最高回転数を超過して使用しないこと。
- 作業加圧は0.3~2.0N以内で使用すること。
- 使用中は毎分50mL以上の冷却水を用いること。
- 使用後は、付着している血液・体液、組織及び薬剤が乾燥しないように直ちに洗浄を行うこと。

2. 重要な基本的注意

- 本品に変形、損傷、破損、ひび割れ等の異常が認められる場合は、使用しないこと。
- 本品の使用目的に合った使用を行うこと。(誤った使用は本品の折損や破損を招く恐れがあります)
- 使用中に感作アレルギー反応が現れた場合は直ちに使用中を中止し、専門医の診断を受けること。

【保管方法及び有効期間等】

1. 貯蔵・保存方法

- 初めて使用するまでは、さびや変色を避けるため、購入時の梱包のまま保管すること。
- 水分や腐食性薬剤及びその蒸気の暴露を避け、温度や湿度が極端に変化しない清潔な場所で、外圧がかからない状態で保管すること。

【保守・点検に係る事項】

1. 使用前、使用後の点検の実施

- 本品は、日常点検及び使用前点検により、破損や腐食がないか確認すること。異常が認められたときは使用しないこと。

2. 洗浄

- 本品が、漂白剤、消毒液等の塩素及びヨウ素を含む溶液に曝された場合には、直ちに清水で洗浄すること。
- 30分以上の超音波洗浄が望ましい。塩素系消毒剤、グルタラル製剤は使用しないこと。
- 中性の防錆洗浄液で、精製水を用いて速やかに洗浄する
- 洗浄後は精製水で十分すすぎ、直ちに乾燥させること。湿った状態で必要以上に長時間放置することは避けること。
- 水道水は使用しないこと。水道水中に含まれる残留塩素及び有機物質が腐食や錆発生の原因となります。

3. 滅菌

- 交差感染症防止のために、本品使用後は速やかに洗浄、滅菌を行うこと。
- 121 /15 分あるいは、134 -3 分以上の高圧蒸気滅菌又は、180 /120 分以上の乾熱滅菌を行うこと。

4. 注意事項

【一般的注意事項】

- 洗浄・滅菌後は、必要があれば拡大鏡などを用いて、製品に傷や変形、破損がないか点検すること。
- 多頻度の使用により、ダイヤモンド粒子の脱落や材質の変化(顕著な変色、表面の亀裂など)をきたした場合は、安全を考慮し、臨床使用を行わないこと。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者
株式会社エスイーエム
お問合せ先: 0572-26-8093

製造(輸入)
レコデント・インターナショナル社
[Reco-Dent International Co., Ltd.]
台湾
[Taiwan]